

佐賀県福祉人材センター

(佐賀県社会福祉協議会)

国境を越えてつながる、佐賀の福祉の輪 ～ 外国人介護人材交流会 ～

事業の目的

県内で就労する外国人介護人材がより一層暮らしやすく、安心して就労できる環境を整備するとともに、職員間のつながり（ネットワーク）づくりを支援し、佐賀県への定着を促すこと目的に開催しました。

【背景】介護福祉士修学資金貸付の新規決定者の大多数（令和7年度実績では69名中59名）が外国人留学生という背景があり、彼らの孤立防止と定着促進はきわめて重要度の高い課題となっています。



仕事や暮らしの工夫、本音を語り合う意見交換会

主な特徴と活動内容（令和7年度実績）

第1部：外国人介護職員 意見交換会

「佐賀での私の働き方・暮らし方 ～もっと住みたくなる佐賀にするために～」をテーマに、県内で働く外国人介護従事者 2名が仕事や生活の様子、課題を発表し全体で共有しました。

第2部：心を元気にするレクリエーション・交流会

佐賀県レクリエーション協会の講師を招き、言葉の壁を越えて誰もが笑顔で体を動かし、親睦を深められるプログラムを実施しました。



言葉の壁を越え、笑顔でつながるレクリエーション

事業の成果・効果

令和7年度（令和8年3月5日開催、西九州大学にて）には、外国人介護従事者41名、日本人介護従事者5名が参加しました。

同郷の仲間や日本人スタッフと直接つながることで、就労継続への安心感と地域への帰属意識が高まり、定着促進（離職防止）に寄与するコミュニティが形成されています。

「佐賀に来てよかった」「ここでずっと働きたい」と思える温かい職場・地域づくりを目指しています。



参加者全員での集合写真